

主催：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター福島原発震災に関する研究フォーラム
2022年度 多文化公共圏フォーラム第4回



基盤教育科目「3.11と学問の不確かさ」公開授業

「当事者として 『科学的』に向き合うこと」

講師の島明美さんは、東電福島第一原発事故の深刻な影響を受けた伊達市の住民として、同市の現状がわかる資料の情報開示請求を100回以上行い、約3万枚の資料を入手して分析し、問題提起を続けてきました。2022年4月に市議会議員となった島さんに、原発事故と向き合ってきたご経験についてお話しいただきます。

日時：2022年7月27日（水曜日）16：00-17：30

講師：島明美（しまあけみ）伊達市議会議員

伊達市議会議員。福島県会津美里町生れ。二児の母。個人被ばく線量データ利用と市民生活を考える協議会代表。市民の被ばくデータをもとに書かれた「宮崎・早野論文」を物理学者の黒川眞一氏と共に、当事者として情報公開制度を活用し検証し、論文は撤回された。日隅一雄・情報流通促進基金奨励賞受賞。高木基金助成金を受ける。

開催方法：Zoomを使ってオンラインで行います（参加費無料・15時50分から入室可能）

参加方法：履修生以外で聴講を希望される方は、7月25日月曜日までに下記のGoogleフォームに必要事項を入力してください。参加するために必要な情報をお知らせします。申込先：<https://forms.gle/tPcSgwAKta6dPCpm8>

問い合わせ先：uuforumsymposium@gmail.com 国際学部 清水研究室宛て